

# 人工関節センター

関節疾患は「要支援」の状態になる原因疾患として上位に位置しており、健康寿命延伸のためにも対応は急務とされている。星ヶ丘医療センターでは、高まる治療のニーズに応えるべく人工関節センターを開設した。

## センター開設の背景

「股関節・膝関節・足関節は日常動作を支える重要な関節で、そこに痛みを抱えることは健康寿命に直結します。当院では、地域の皆様に長く健康に暮らしていただけるよう、専門医を結集して人工関節センターを開設しました。股膝に加えて、専門とする医師が少ない足関節の治療にも対応しているため、痛みにお困りの方はご相談いただければと思います」と、細野院長はセンター開設への思いを語ってくれた。

股・膝・足などの関節の痛みに対し  
専門医が集結して治療を行う

阿部 裕仁

人工関節センター長・整形外科部長

柵座 康夫

整形外科部長



病診連携がよりスムーズになるよう開業医の先生を対象としたセミナーを開催し、少しでも多くの方が治療を受けられるよう取組んでいる

## 対応疾患と治療の詳細

同センターではどのような治療が受けられるのか、股関節治療を専門とするセンター長の阿部先生と、膝関節と関節リウマチを専門とする桐座先生に詳しくお話をうかがった。「最も多く診療を行っている股関節疾患は変形性股関節症です。初期の段階では手術をせずに体重を減らし、筋肉を鍛えることで関節への負担を減らしたり、薬で痛みを抑えたりする保存治療を行います。症状が長期化し、痛みに耐えられなくなった場合に人工関節手術を検討します。股関節を金属に置き換えると、金属に神経は通っていないため動いても痛みが発生せず、リハビリを行うことで可動域の改善

が期待できます。当院では手術前にCTを撮影し、たくさんあるインプラントの中から最適なものを選択して、ナビゲーションシステムを用いて正確な位置にインプラントを設置することを心がけています」と阿部先生。「膝に関しては、変形性膝関節症や関節リウマチを中心に治療を行っています。股関節同様保存治療から始まり、手術が必要な場合には関節を温存する骨切り術、そして人工関節手術と患者さんの状況に合わせて治療を行います。膝の人工関節手術では、骨を切る角度が僅かに変わるだけでも機能面に影響が発生するため、ナビゲーションシステムを用いて精密にインプラントを設置するようにしています」と、桐座先生は解説してくれた。

## 健康寿命を延ばすために

「近年インプラントの機能は向上し、ゴルフや水泳、卓球などができるまで回復する方も多く、アクティビティを楽しみたい患者さんのご要望に沿った手術が可能になってきています。健康寿命を延ばすために、痛みを我慢せずご相談いただければと思います」と阿部先生。桐座先生は「当院ではリハビリに力を入れており、患者さんの生活様式に合わせて、回復期病棟で長期的なりハビリを受けていただくこともできます。また術前と術後の歩行機能を解析し、リハビリに役立てる試みも行っていますので、不安なく治療を受けていただけるのではと考えています」と、それぞれ患者さんにメッセージを残してくれた。

## 人工関節センターを知ろう!

### チームで人工関節治療に取り組む



日本整形外科学会認定整形外科専門医が4名勤務し、股関節・膝関節・足関節の人工関節手術に対応。手術をサポートする看護師も人工関節手術の経験が豊富で、患者さんの精神的・身体的負担を減らすことができる。また、内科、リハビリテーション部、薬剤師、管理栄養士なども協力しあい、患者さんを多角的にサポートする体制が整っている

### センターで取扱う手術



#### 人工股関節置換術

変形性股関節症や関節リウマチにより破壊された股関節を人工関節に置き換える手術。ナビゲーションシステムを用いて手術することで、手術後に発生する脱臼のリスクを抑えることができる



#### 人工膝関節置換術

損傷した膝関節を人工関節に置き換え、激しい痛みや変形を改善する手術。加齢や肥満が原因で膝関節がすり減ることが多く、日本全体で年間約10万人がこの手術を受けている

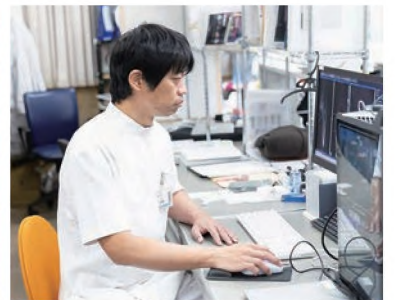


#### 人工足関節置換術

変形性足関節症や関節リウマチにより傷ついた足関節を人工関節に置き換える手術。膝や股関節と比べて対応する医療機関が少なく症例数は少ないが、治療のニーズは高い



人工関節手術の手術風景。手術時には多くの粉塵が発生するが、手術はクリーンルームで行われるため清潔に保たれ、術後の感染症リスクは最小限に抑えられる



CTデータをナビゲーションシステムに取込み、患者さんに合わせた三次元術前計画を立てる阿部先生。この手順を行うことで、より正確な手術を行うことが可能になる